

市長と語る会(壬生野地域住民自治協議会)

平成27年7月21日(火)午後7時30分～午後9時  
壬生野地区市民センター

項目	市民の皆さんからいただいた主な意見等	その際の回答要旨
耕作放棄地について	耕作放棄地が集落の景観に与える影響と、これからどう取り組んでいかなければいけないか教えていただきたい。	農地の集約化が課題となっておりますが、中間管理機構が大きい成果を上げるまでには至っていません。営農団体は条件が良いところは耕作してくれますが、悪いところは耕作してくれないこともあります。インセンティブ(報奨金)を考える必要もあります。 農地を持っている人の覚悟の問題もありますが、使いたい人がいれば、無償であっても貸して農地を生き続けさせる工夫も必要だと思います。 耕作放棄地の解消には、行政のバックアップと土地を持っている人の覚悟が必要だと思います。また、農業をしたい人を招き入れることも大事だと思います。
道路の維持管理について	通学路の区画白線について昨年からの要望しているが、その見通しはどうなっているか。	要望の件を確認したところ、希望ヶ丘から勝手神社へ出てくる通学路にもなっており、そこから壬生野小学校へ向かうところの信号の停止線が消えていました。伊賀警察へ上申しており、伊賀警察から県警へも上がっています。警察の予算の都合があり、優先順位をつけているところだと聞いています。
	市道の維持管理について、予算を付けていただけるのか聞きたい。	道路の修繕については、伊賀支所管内は建設2課の所管となっております。職員がパトロールして、道路の巡視に努めていますが、何かお気づきの際は、ご連絡いただければ、直ちに手配させていただきます。
職員の地域への参加について	まちづくり協議会は発展しているが、まだまだ足りないところもある。そのため、市職員のリーダーシップを期待します。職員が参加できるようなシステムづくりを考えていただきたい。	クレドカードというのを職員全員に持たせています。市民目線、市民感覚ということで、大事なことは、市の職員である前に地域の住民ですので、自ら進んで地域の行事に参加したり、皆さんとしっかり向き合うことを徹底するように言っています。
河川改修について	宮川河川の水質が悪化しているので改善してほしい。土砂も溜まっているので取ってほしい。大雨が降ると、河川の水が人家のほうへも来ることがある。	昨年8月13日に要望いただいており、県へも申請しています。 回答は、「極端に堆積はありませんが、春日橋から上流の春日神社までの区間については、曲がっている部分に土砂が堆積している」という認識は持っていることです。河積(流れる面積)は、総合的には、悪い状況ではないという判断をされているようです。経過観察をしており、緊急性が生じた場合は対応するという事です。 水質については、資料等がありませんので、後日、返答させていただきます。
肥料の堆積について	業者が肥料等を上屋もなしに積んでいる。雨の日は流れてくる。 屋外に野積みしてあるので、風雨にさらされ、匂いが大変きつい。対応をお願いしたい。屋内の堆積場にしていきたい。	県の農林事務所へ連絡します。県にもしっかりと見ていただくようにしたいと思います。

<p>空き家と移住対策について</p>	<p>伊賀市内の空き家の数は把握しているか。川西区も空き家の数が増えている。若い世代が留まってくれる方策はないか。Uターン、Iターンなど、若い人が空き家等に住むための補助制度など、メリットを付けられないか。1年間は税金を免除するとか、保育料はいらないとか、何か施策があれば聞かせてほしい。</p>	<p>若い人に住んでもらうには仕事がないといけませんので、工場の誘致等、職場を増やしたいと考えています。若い人たちに来ていただいてメリットがあるようなこと、インセンティブをつける方法も考えていきたいと思っています。</p> <p>国が5月26日に空き家対策特別措置法を施行しました。これに伴い、伊賀市も、今年度、空き家対策計画を策定します。利活用にも重点を置き、外からの流入人口を増やすことも視野に入れ、総合的に取り組んでいける計画にしたいと思っています。</p> <p>その前段として、実態調査をして、空き家の活用等について、アンケートも考えています。そして、データベースの蓄積を行い、空き家の利活用につなげていきたいと考えています。</p>
<p>文化・芸術の振興について</p>	<p>芭蕉翁記念館と図書館をどうしていくか聞きたい。伊賀市は文化学術都市として生き残っていくのがいいのでないかと考えている。</p>	<p>伊賀は文化的遺産たくさんあります。もっと外に向け情報発信し、経済効果に変えていくことも考えないといけません。</p> <p>今の芭蕉翁記念館は、展示スペースとしては十分ではありません。現在の図書館を芭蕉翁記念館として整備する計画としています。周辺に駐車場の整備も考えています。</p> <p>図書館は本を貸し借りするだけでなく、市民が利用できる空間であること、そして、そこから新しいものが生み出される空間であること。</p> <p>市役所が四十九町へ移ったら、南庁舎は、改修して、市民が集い、憩える図書館にしたいと思っています。</p>
<p>ふるさと会館について</p>	<p>伊賀支所、いがまち公民館が老朽化のため、ふるさと会館へ移転すると聞いた。ふるさと会館の大ホールは無くなると聞いたが、600席が300席あるいは200席になってもよいが、地域の人が集えるような場所として残してほしい。</p>	<p>公共施設最適化方針及び計画の中では、ふるさと会館いがについては、専門的なホール機能は無くなりますが、支所、公民館、市民センターの機能が入る複合施設として再編していくよう伊賀支所で検討しているところです。</p>
<p>春日神社拝殿について</p>	<p>春日神社の拝殿は、平成8年の調査で、15世紀中頃よりも前に創建されており、柱も創建当時のものが残っているとのこと。早く修復すべきとのことである。拝殿がかなり傷んでいる。県下でもあのような大きな拝殿はない。将来、文化遺産として引き継いでいきたい。</p>	<p>鎌倉時代の遺構が残っており、伊賀でも貴重な建物です。国県協調補助もありますので、早く直していきたいと思っています。</p>
<p>図書館の整備について</p>	<p>図書館は充実していただけるという話であるが、郡部の者がそこへ行く交通手段を考えてほしい。また、利用者のことを考えて駐車場は大きく取っていただきたい。</p>	<p>図書館の駐車場スペースと公共交通機関については考えているところです。</p> <p>三重交通の営業バスは、全部で5種類があり、すべてハイトピア伊賀に向かって走っています。図書館がある市街地に向かうには、バスが一番便利だと思っています。</p>

道路の渋滞緩和について	甲南インターが出来てから、壬生野インターへの道路が渋滞している。側道を付けるなど、安全に走れる道路にしていきたい。	壬生野のインターは混むという話ですが、名神名阪連絡道路ができると、少しは緩和されると思っていますので、早期完成に向けて要望しているところです。
名阪側道の警告灯について	名阪国道の南側の側道で、子どもの通学路に設置された横断注意のランプが付く電気装置はどこかの管理か。故障した場合はどこへ言えばよいのか。	国の所管だと思います。建設2課あるいは、公共基盤推進課へ言っていただければ伝えます。
ミラノ万博について	伊賀にはいろんなコンテンツがある。市長は今年、ミラノ万博にそのコンテンツを持って行ったが、海外での感触はどうであったか。	忍者ショーは3日間で1万人の人に見てもらいました。忍者の発信力はすごいものがあります。物産も試食してもらいました。今後、インバウンドに対し、地元でどんな受け入れ態勢をつくれるのか、経済効果として何ができるのか、皆さんにしっかり考えていただきたいと思います。
ため池の整備について	県のホームページで田代池が決壊した時のシミュレーションが見られると聞いた。過去には、決壊したこともある。センサーを付けるなど、区長へ情報が入り、区長から区民へ連絡できる方法はないか。	2年ほど前に、三重県土地改良事業団体連合会で、ため池の調査を行っています。その結果を農村整備課から話をさせていただいていると思います。監視施設については、市単独ではできません。補助メニューがないかなど、農村整備課から返答させていただきます。
道路整備について	御代インターのところが危険である。歩道橋をつけるとか、広げてほしい。	御代インターは本線まで、車の列が残るという状況は把握していますが、改善するのは難しいと聞いています。 また、歩道橋の建設も現状では難しい状況です。危険であるとの認識は持っています。他の安全対策を国と一緒に検討していきたいと考えています。